

# 山形大学「山形ワークライフバランス・イノベーション」

山形大学は、平成21年に男女共同参画推進室を設置すると共に、「男女共同参画推進宣言」を発表した。平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業「山形ワークライフバランス・イノベーション」採択を機に女性研究者支援の基盤整備を進め、今日に至っている。

「山形大学男女共同参画基本計画」（10ヶ年計画・平成22年策定）では、女性教員比率を13.1%（平成21年度）から将来的には25%まで引き上げることを明記し、以下のような取組を推進している。

## 【女性研究者支援の取組】

### 1. 実施体制

学長を委員長とし、担当理事及び全学部等からの副学部長と女性教員、本部職員を構成員とする「男女共同参画推進委員会」を設置しており、全学及び各学部等の年度計画についてPDCAサイクルによる実施、改善を進めている。また、担当理事を室長とする「男女共同参画推進室」には、専任スタッフ4名（コーディネーター、事務室長、事務補佐員、相談員）が配置され、各種支援制度や新設の保育所に関わる活動など多岐にわたる支援を行っている。

### 2. 取組状況

#### 〈意識改革〉

平成20年度から男女共同参画シンポジウムを毎年開催し、県内高等教育機関による「男女共同参画に向けた大学連携・山形宣言」（平成23年採択）以降、「大学コンソーシアムやまがた」との共催で開催している。男女共同参画やワークライフバランスの実現に向けた意識改革を図っている。

「基本計画」の中間評価のため、本年度、全教職員・大学院生を対象にアンケート調査を実施した。

#### 〈研究継続支援員制度〉

育児や介護期でも研究が継続できるよう研究や実験等の補助をする支援員を配置する制度。平成22年度から毎年、約10名の女性研究者が利用している。本年度からは男性にも拡大した。

#### 〈小白川キャンパス保育所の設置〉

医学部保育所に次いで平成26年4月に小白川キャンパス保育所（定員30人）を開設し、0才から就学前までの保育を行っている。待機児童解消のため地域の乳幼児の受け入れも行っている。

#### 〈託児サポーター制度による学童の一時預かり〉

平成21年度から学生を対象とした託児サポーター養成講座を継続して行い、これまでに計88人のサポーターを養成した。平成26年度は、学童の一時預かりへと制度を変更した。

#### 〈学会参加時の保育支援制度〉

女性研究者が学会に参加する際の託児やベビーシッター利用料金の一部を補助する制度。平成24年度から開始し、これまでに7回の利用があった。

#### 〈女子中高生への理系女性裾野拡大〉

理・工・農学部で主に女性の中学・高校生・大学生を対象とした女性研究者裾野拡大セミナーを開催し研究の魅力を伝えている。平成25年度は5回実施し約300人が参加した。

平成21～25年度間に37回開催し、約2,000人の参加があった。理・工・農学部の女性受験者数を、取組前（平成18～20年度）と後（平成21～23年度）で比較すると23.5%の増加があった。

### 3. 成果と今後の課題

前述の取組の他、巡回聞き取り相談、女性研究者支援メンター、学外からの物品購入依頼・旅費請求、女性研究者へのノートPCの貸出の各制度を充実すると共に懇談会等を多数開催するなどにより、WLBの一層の推進を図った。また教員公募への女性の応募は徐々に上がっており、採用比率も平成23年度を除き応募比率を上回っている。しかしながら、目標値には、未だ遠く女性教員比率向上への踏み込んだ対応の検討が必要になっている。

---

#### 【連絡先】 山形大学 男女共同参画推進室

TEL : 023-628-4937 FAX : 023-628-4014 E-mail : y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL : <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

# 山形ワークライフバランス・イノベーション

国立大学法人 山形大学 男女共同参画推進室

## 主な取り組み内容と実績（平成25年度）

### ニーズの把握

1. 学長・学部長と女性研究者との懇談会（4回）
2. 巡回相談員制度（4キャンパスを訪問）  
男女教職員20人と面談
3. ランチミーティング（3回）
4. 各種支援制度利用者からの報告

### 環境整備

1. 男女共同参画推進委員会、男女共同参画推進室の設置と各部署における推進体制の確立
2. 学会参加時の保育支援制度（6人利用）
3. 休暇・休業制度の周知と利用促進
4. 研究継続支援員制度の利用促進（2期計21人利用）
5. 託児サポーター制度の利用促進
6. 保育所の増設

### 意識改革

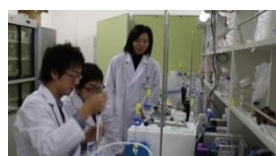
1. 「男女共同参画基本計画」の広報
2. 「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画」の広報・周知
3. シンポジウムの開催（1回）
4. ニュースレターの発行（2回）
5. 男女共同参画フェスタの開催

### 女性研究者裾野拡大

1. 中学生、女子高校生、大学生向けセミナーの開催（5回）
2. ジェンダー関連授業の開講（18科目/年）
3. ブックレット「Woman of YAMAGATA」の配付



学長・学部長と女性研究者との懇談会



研究継続支援員制度



平成25年度シンポジウム



平成25年度フェスタ



第13号・14号ニュースレター



女子高校生セミナー  
（理学部 DNA 実験）

WLB ランチミーティング

## 数値目標

- ・早急に女性教員比率を15%に
- ・将来的に女性教員比率を25%に

平成26年10月1日現在13.6% 鋭意努力中

## 保育支援の拡充（平成26年度）

### 託児サポーター制度（学童一時預かり）



保育時間：13:00～19:00  
（H25年度は、延べ60回実施）

### 小白川キャンパス保育所のびのび



飯田キャンパスにつぎ、二つ目の事業所内保育所として小白川キャンパス保育所のびのびを平成26年4月に開所。

保育時間：7:30～20:30

入所定員：30人、一時預かり制度あり

## 平成26年度の支援体制

### 男女共同参画推進委員会

委員長（学長）  
（委員）担当理事、各学部等の副学部長等＋女性教員各1人、総務部長、企画部長他 合計19人

### 男女共同参画推進室

室長（理事）  
理事・副学長付スタッフ1人  
コーディネーター1人  
企画部准教授  
総務部長、人事課長  
労務課長、労務課副課長  
合計8人

担当職員  
事務室長1人  
事務補佐員1人、相談員1人  
合計3人

### 各部署の推進組織

人文学部  
地域教育文化学部  
理学部  
医学部  
工学部  
農学部  
基盤教育院  
附属学校  
小白川キャンパス事務部

## 課題と事業の継続（平成26年度～）

- ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識改革と両立支援の一層の推進。
- ・早急に女性教員比率を15%に。将来的には25%に。

課題の把握

### 「山形大学男女共同参画基本計画」中間評価の実施

前半期の事業の総括と後半期の方向を探るために、全教職員・大学院生を対象にしたアンケート調査を実施（7月）。

事業の継続

### 「Annual Plan 2014」での全学的取り組み

「山形大学男女共同参画基本計画」に基づき、研究継続支援員制度等の女性研究者支援策を継続し、女性教員比率の向上を目指すとともに、小白川キャンパスにおいては、新たに開設した保育所「のびのび」の円滑な運営を図り、教職員全体のワークライフバランスの実現を更に推進します。

女性研究者支援及び全教職員支援へ

更なるワーク・ライフ・バランス・イノベーションの推進



山形大学男女共同参画推進室

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL: 023-628-4937/4938/4939

E-mail:y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/